

タウンウォッチングレポート

街に氾濫する落書きたち ~落書きに隠されたメッセージ~

社会学科 一回生

村山

1、背景・問題意識

街には、誰が書いたともしれない数々の落書きがあります。今までなんとなく見て通り過ぎるだけだった落書きには、いったい何が書かれていたのか？今回は足を止めて、じっくりと落書きを観察してみたいと思います。

2、調査の目的

これらの落書きに共通点はあるのか。そしてこれらの落書きから感じられるメッセージがあれば、推測ではあるが考えてみたい。

3、調査場所

阪急三宮駅高架下付近（地図参照）

4、調査期間

2004年10月18日及び21日の午前7時から午前9時ごろ

5、調査方法

落書きをカメラで撮影し、

- ・落書きの内容
- ・落書きの色
- ・落書きの分布

などを、分析する。

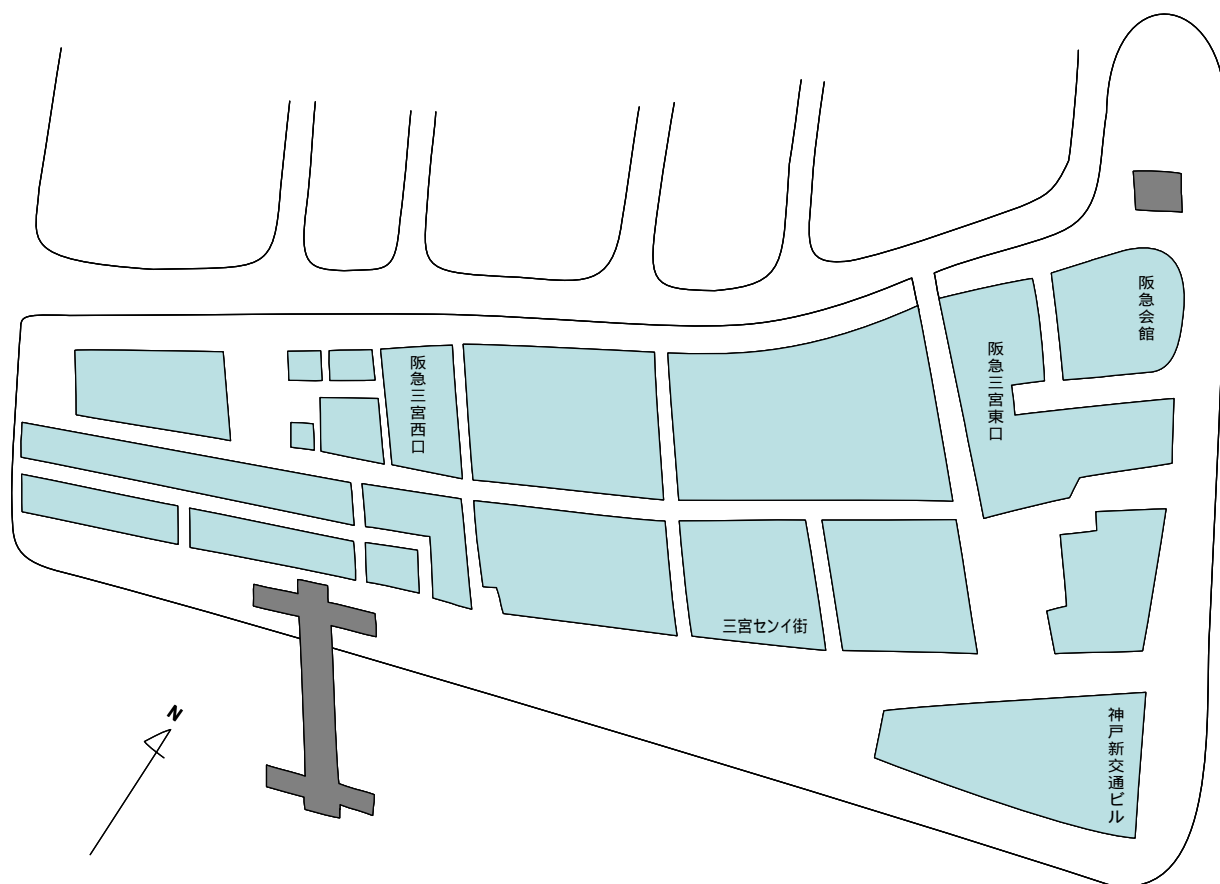
6.分析

まず、第一に驚いた事は落書きの量の多さ。まさかこんなにあるとは思いませんでした。いかに普段自分が何も考えずに街を歩いていたのかと、改めて思いました。結局、写真撮影箇所は 128、全ての落書きを合わせて 461 という大量の落書きに出会うことになりました。

写真を撮ったり、眺めたりしているうちに、意外にもこの落書きたちには、似ているものが多い事に気がつきました。そこで、落書きを自分の推定で分類し、まとめたのが表 1 です。落書きの名称ははっきりしたものはわからないので、便宜上自分で名づけました。

(落書きの中には、推定で同じだと判断したものもあります。また、見落としているものもあるかもしれません。)

調査範囲は以下のとおり。



・落書きの分析

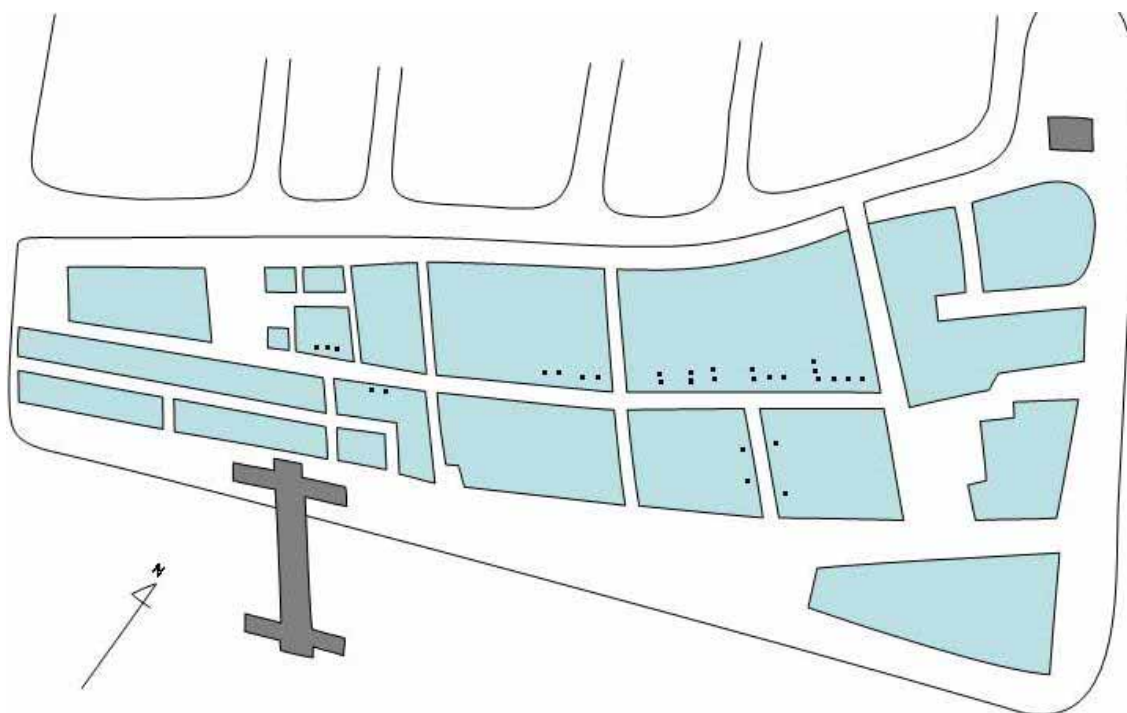
S V S N



左から、写真番号 1 1、4 4、8 1、9 4 をはじめとして他、計 3 1 の落書きがあった。

気づいたこと

黒で書かれているものが多い。また、ほとんどの落書きが真ん中の路地付近に集中している。筆跡も似ているため、もしかすると同一人物が書いた落書きが多いのかもしれない。



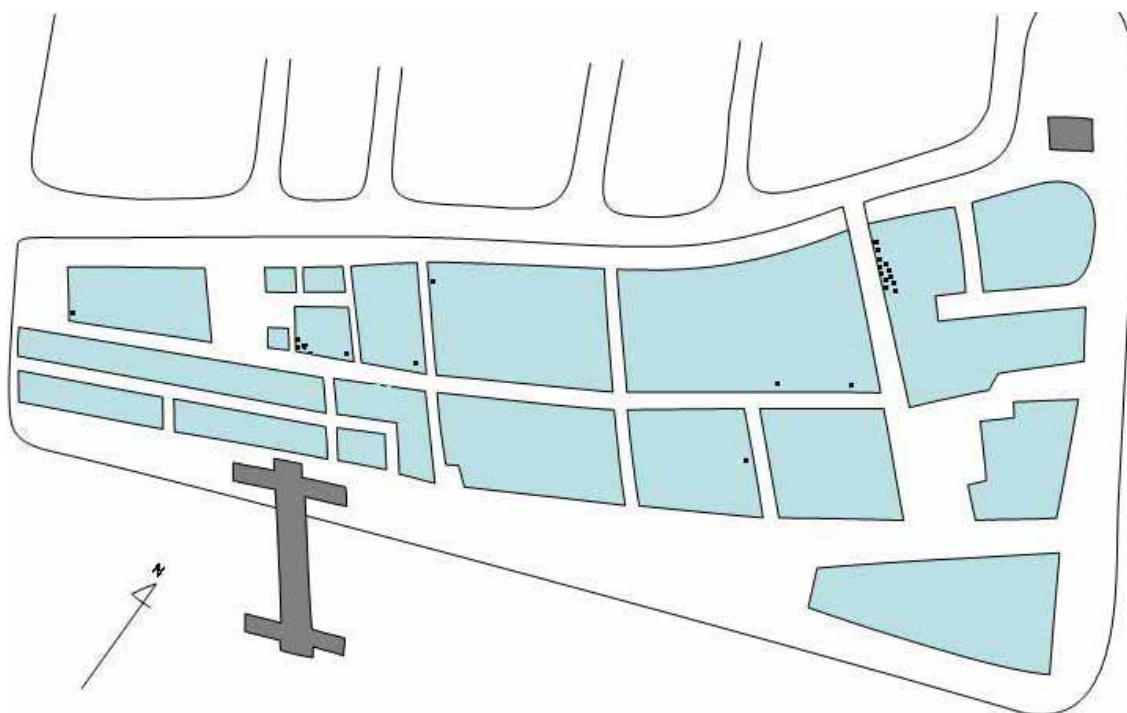
OZORO



左上から、写真番号4、14、95、下は7。他、計22の落書きがあった。

気づいたこと

白、青、黒の三色のバリエーションがある。同じ場所にかたまって書かれている事が多い。文字にも見えるが、虫（蜂？）の絵に見えないこともない。また筆跡に共通点が見られる。 OZOO2 と類似点が多く、同じ落書きの筆跡違いの可能性はある。



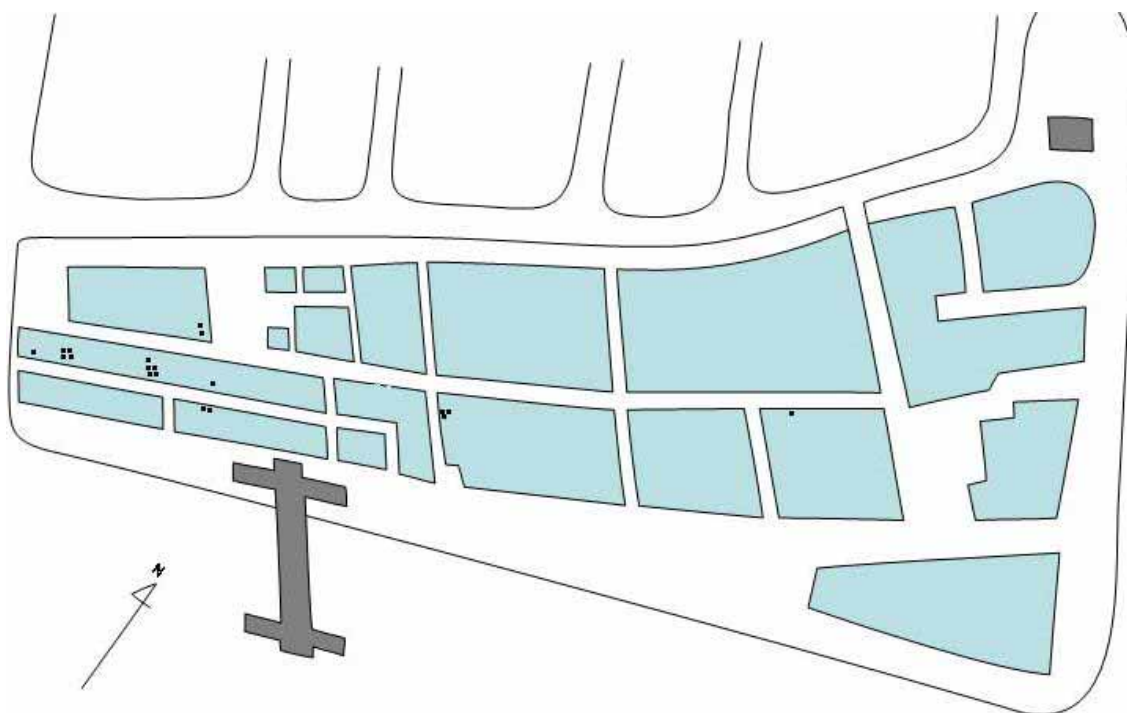
ちやきず



左上から写真番号28、29、116、123、97。他、計20の落書きがあった。

気づいたこと

すべての落書きが黒で、ペンキやスプレーではなく、マジックで書かれていると思われる。そして、ほぼ全ての落書きが柱やパイプなど細いところに書かれている。また、筆跡はほぼ同じだが、違うものもいくつかある。連続してかたまっているものが多い。
(ちなみに調査範囲には入っていないが、三宮のアーケードにも2つの落書きを確認。)



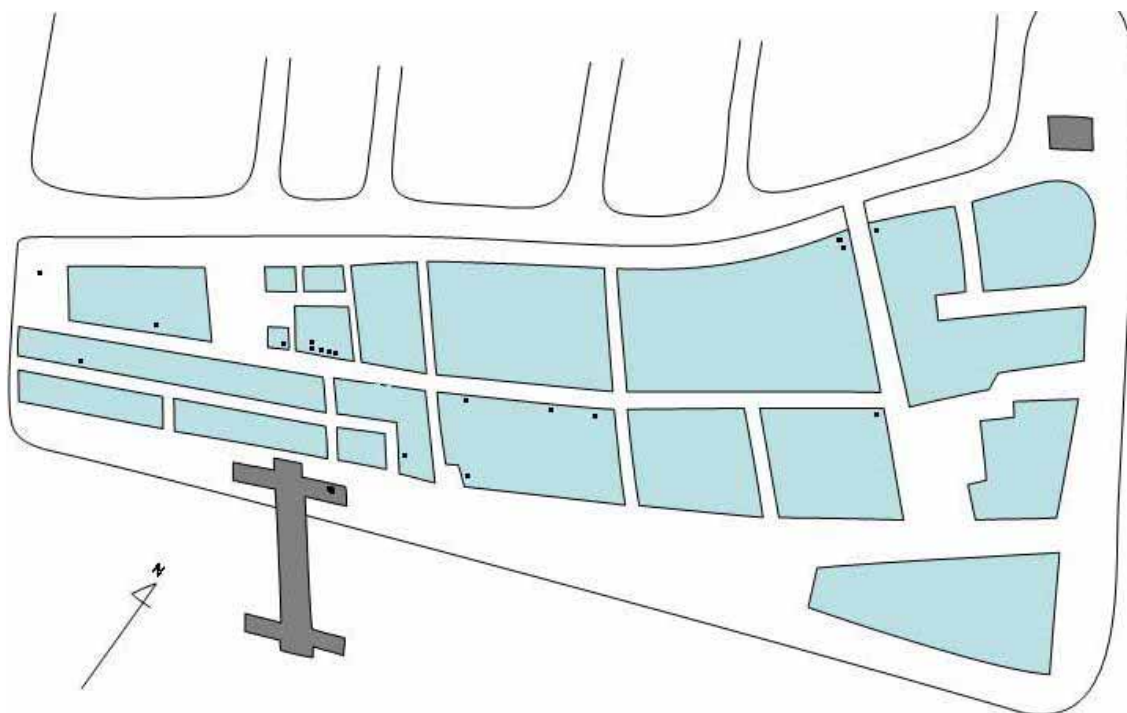
OZOO 2



左から写真番号 2、10、26。他、計 19 の落書きがあった。
ただ、OZORO と類似点が多いため、筆跡が違う同じ落書きだということも考えられる。

気づいたこと

白、黒、青など色のバリエーションがある。この三色を使っているという点も、OZORO との共通点である。また、いくつか連続して近い場所に書かれている事や、OZORO の落書きの位置から距離が近いことから、同じ落書きを、複数の人間で描いている可能性があると思われる。



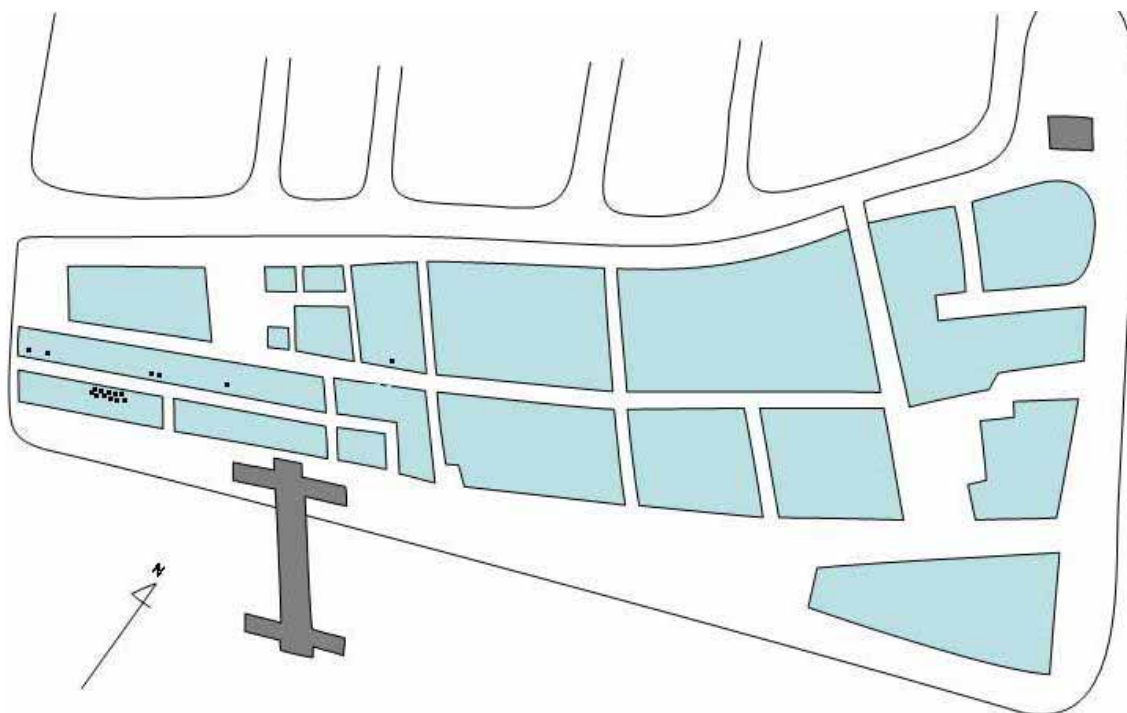
PUSH



左から写真番号41、111、119、124、125。他、計17の落書きがあった。

気づいたこと

全ての落書きが青で描かれていた事と、範囲がかなり狭いことから考えると、少数の間もしくは一人で描かれた落書きかもしれない。



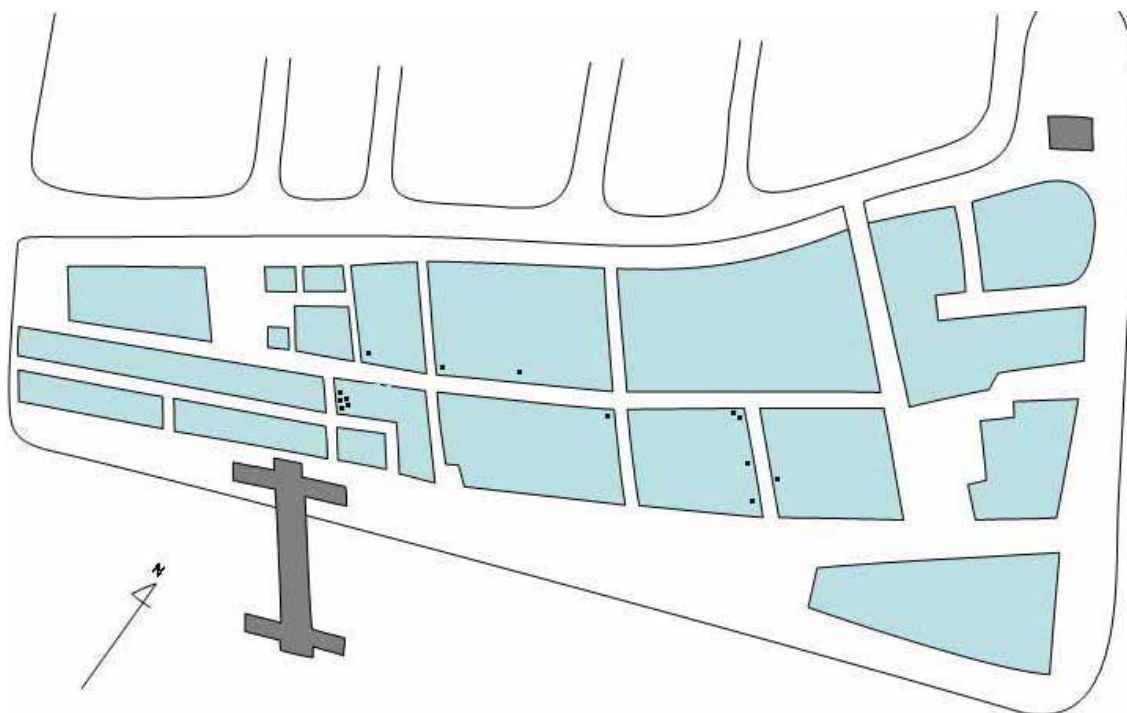
TCCH



左から写真番号38、51、77、109。他、計14の落書きがあった。

気づいたこと

3、4色程の落書きがあるが、筆跡は似ており場所も近いことから、ほぼ同時期に描かれた落書きだと思われる。この落書きも少人数の人間によって描かれたのかもしれない。



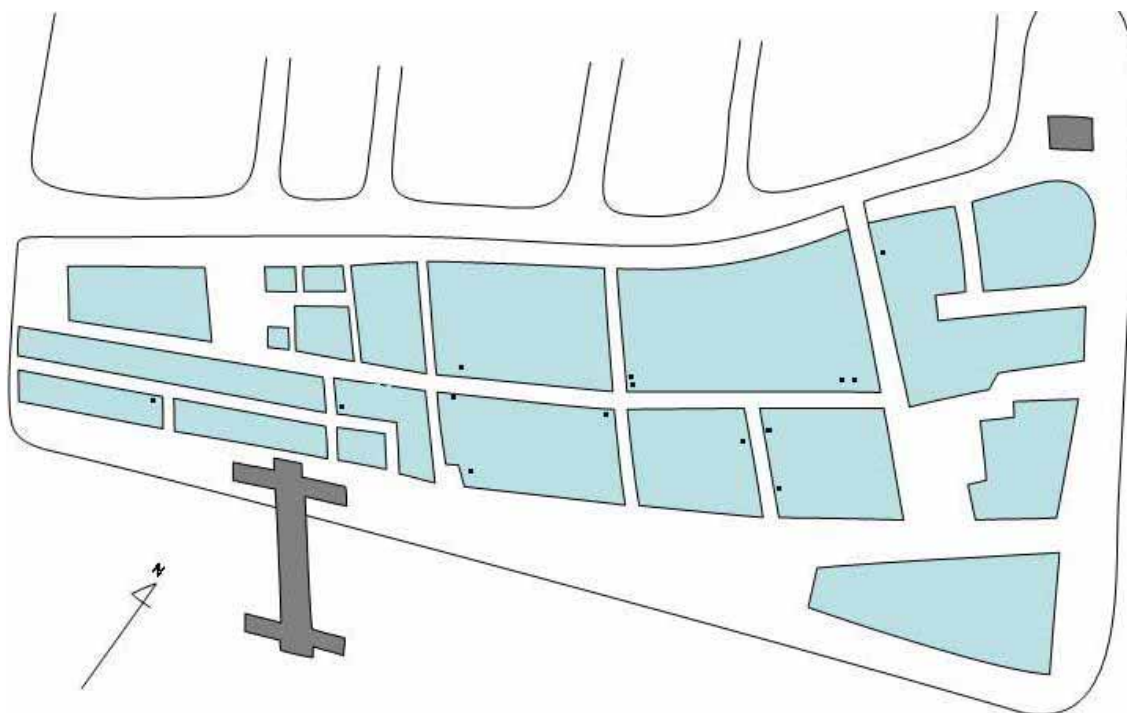
少年



左上から写真番号5、49、60、66、67、68、85、95。他、計14の落書きがあった。

気づいたこと

色々なバリエーションがあるが、壁の下面を利用したり、看板を利用したり、既存のもの利用度が高い。色々な色が使われており、描かれている範囲も広いことから、複数の人間がこの落書きを描いたと思われる。いくつかの喝とセットになった落書きがあり、関連性が気になる。また、三宮以外でもこの落書きを見たことがある。



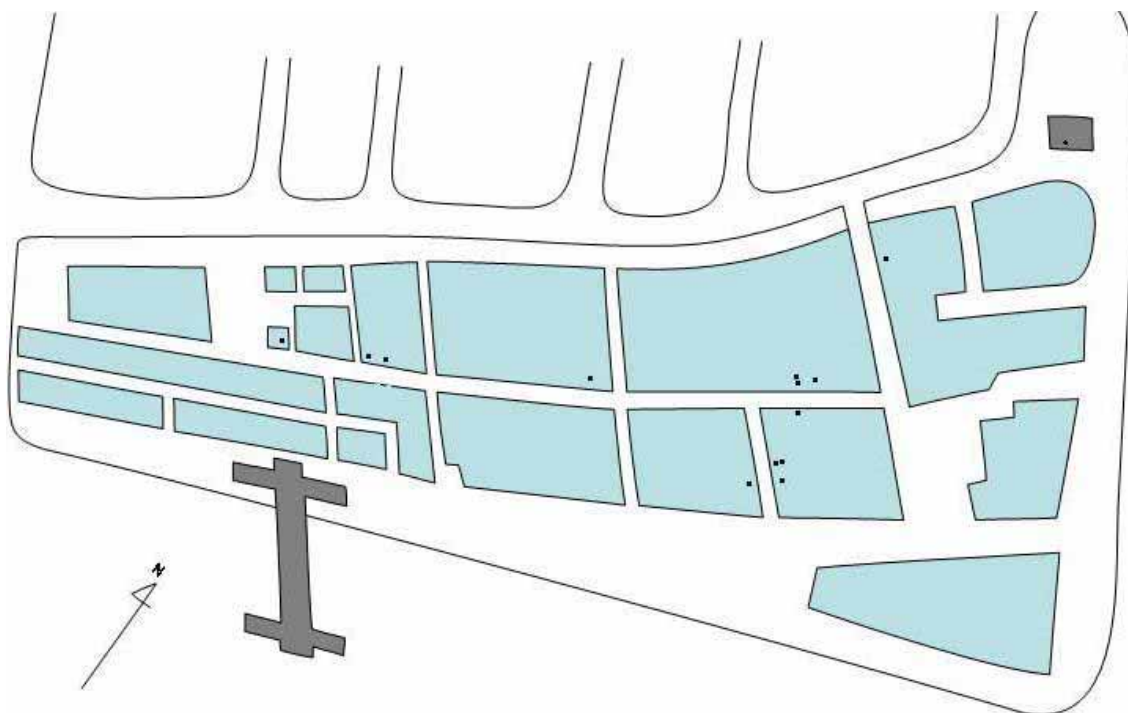
TDW



左から写真番号 1、38、59、81、87、92。他、計 13 の落書きがあった。

気づいたこと

色は黒一色。筆跡に何種類かあるものの、狭い場所に固まっているので、複数人間が同時期に描いたか、少数の人間が筆跡を変えているか、どちらかかもしれない。



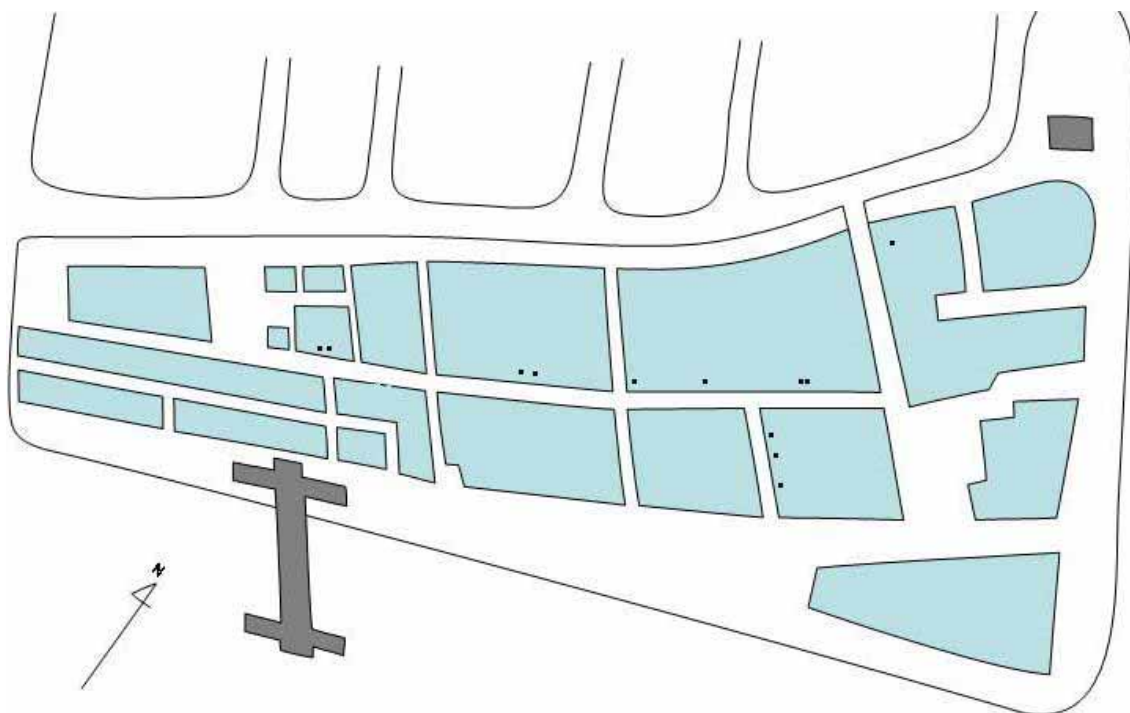
ZDON



左上から写真番号35、36、68、71、92。他、計12の落書きがあった。

気づいたこと

落書き自体は距離的に近いが、青、黒、橙などの色が使われている点と、筆跡にも色々ある点が、他の落書きとは少し違う。



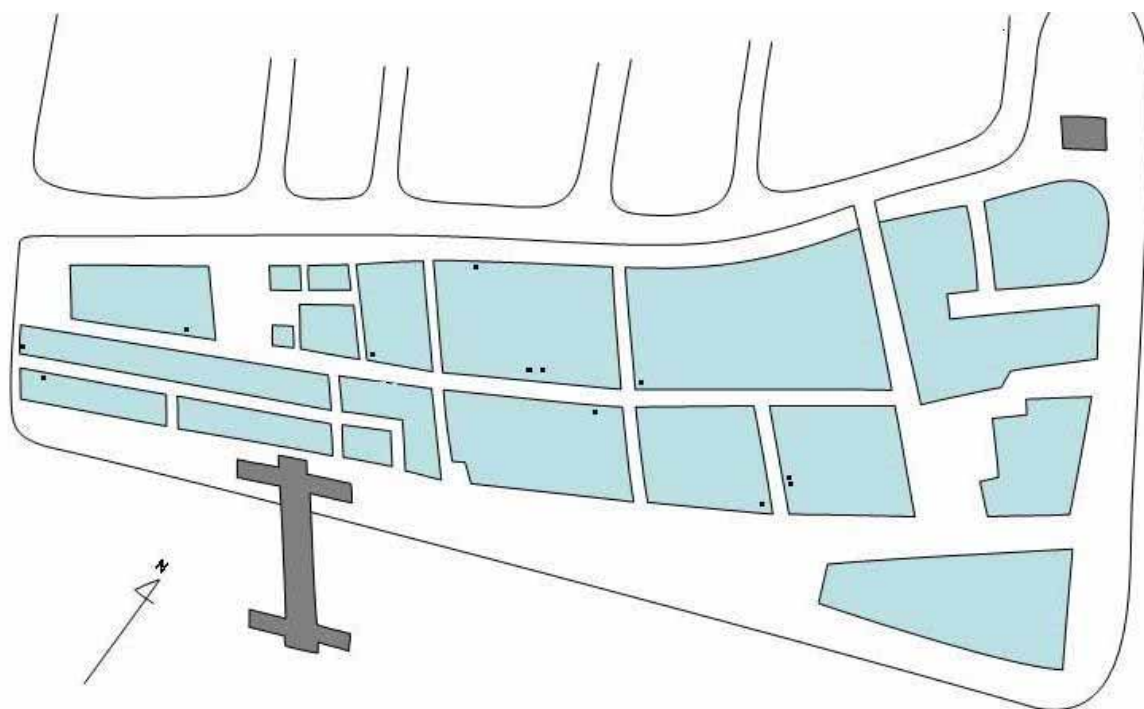
喝

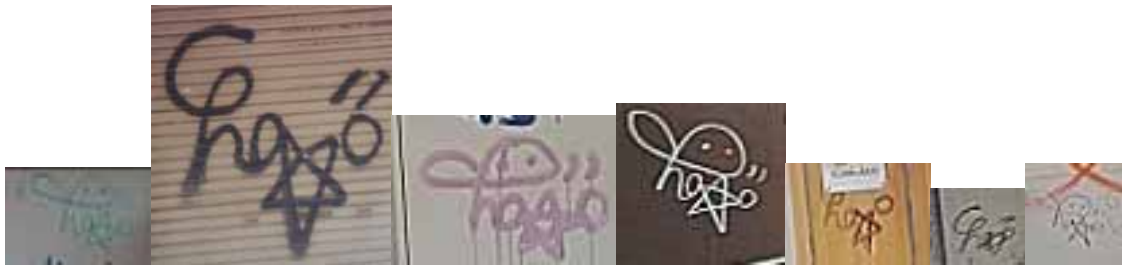


左上から、写真番号13、27、38、57、68、125、126。他、計12の落書きがあった。

気づいたこと

この落書きも緑、茶、黒、白など様々な色が使われている。また落書きの位置関係が結構離れている。また筆跡もかなり違っていることから、はじめは13と68が同じ落書きとは思えなかった。

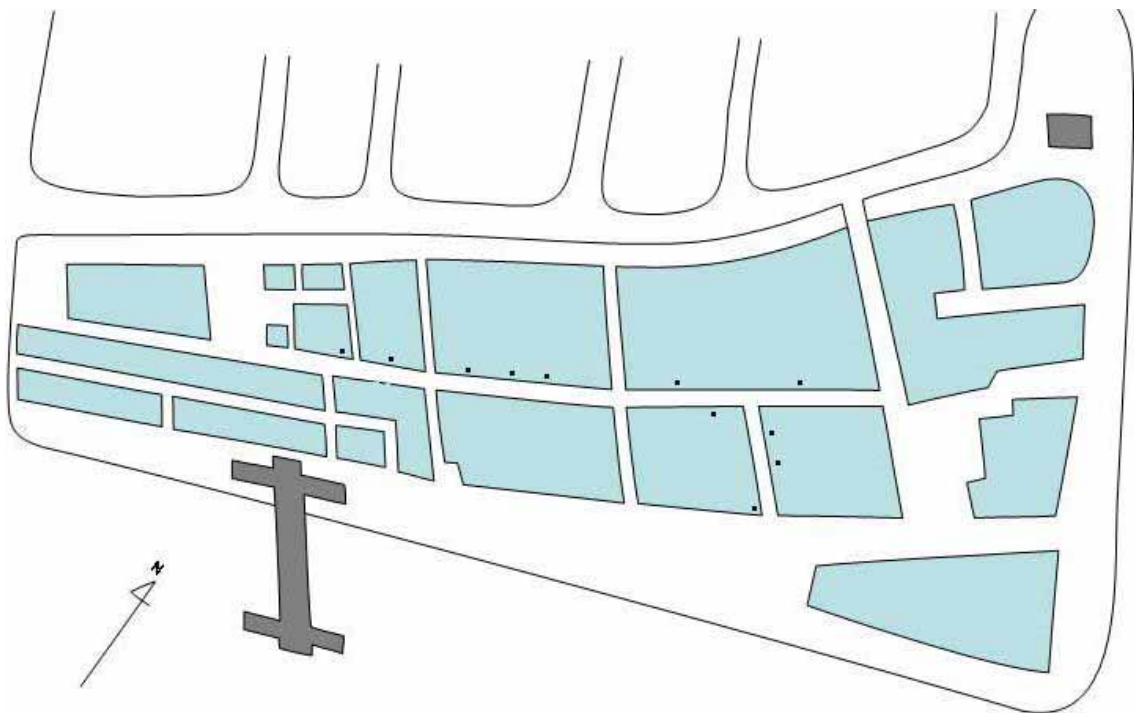




左から、写真番号37、40、56、70、87、88。他、計11の落書きがあった。

気づいたこと

ほぼ直線上に落書きがならんでいるので、同人物の落書きとも思えるが、色数が多いことから、多人数で同時期に描いた落書きとも考えられる。



J A Z Y

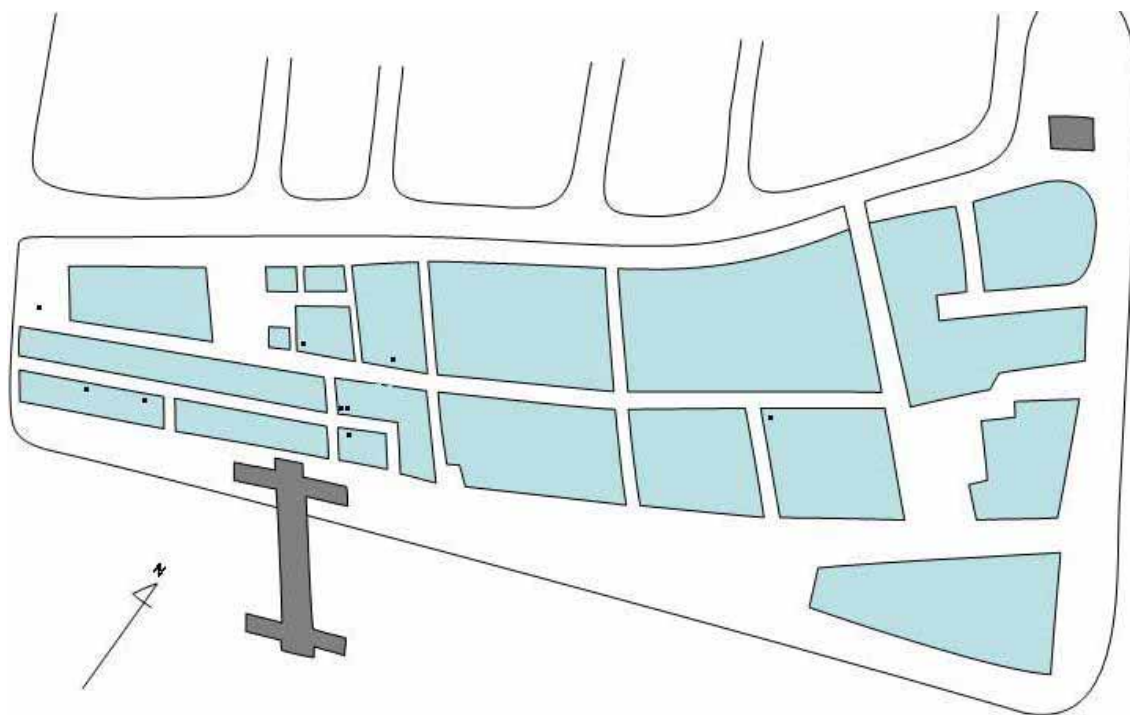


左上から、写真番号 22、31、40、89、108、113、127、128。
他、計 10 の落書きがあった。

気づいたこと

筆跡は似ているような気がするが、比較的広範囲に存在する。色は青色が多い。

ちなみに三宮のトアロードや、岡本でも発見したことがある。



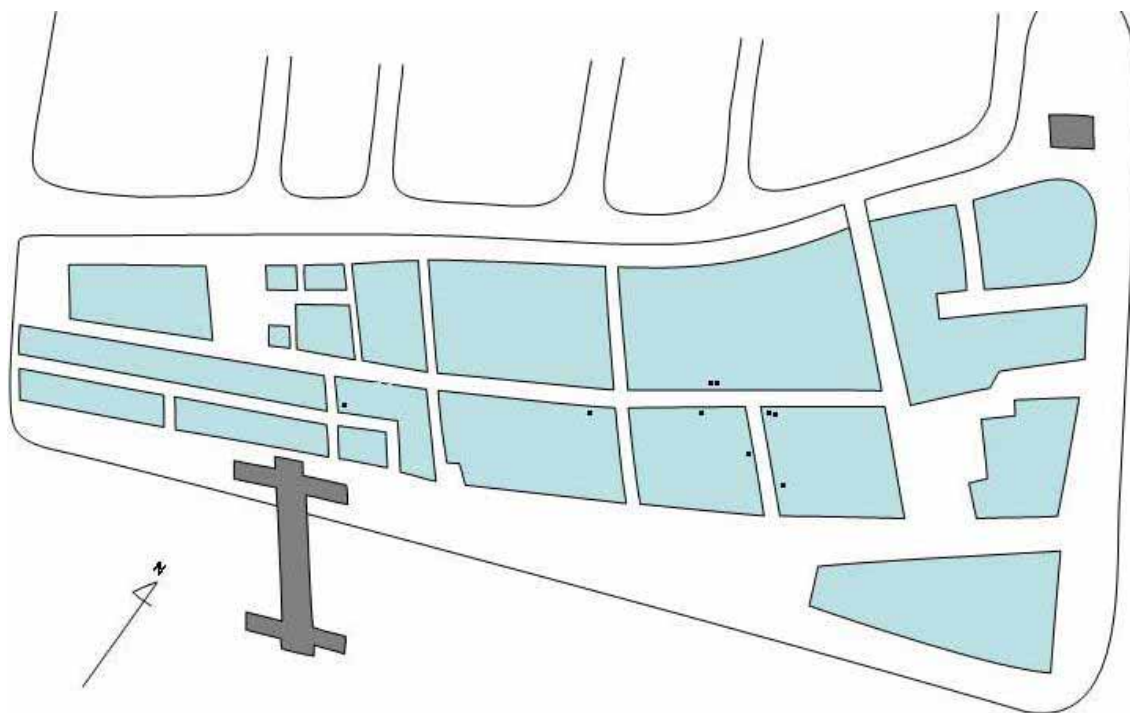
熊



左上から、写真番号65、72、75、79、89。他、計9の落書きがあった。

気づいたこと

かなり狭い範囲に集中しているが、インパクトが強い。というのもシャッターや、ドア等の目立つところに描かれていることに加え、サイズが大きいからである。



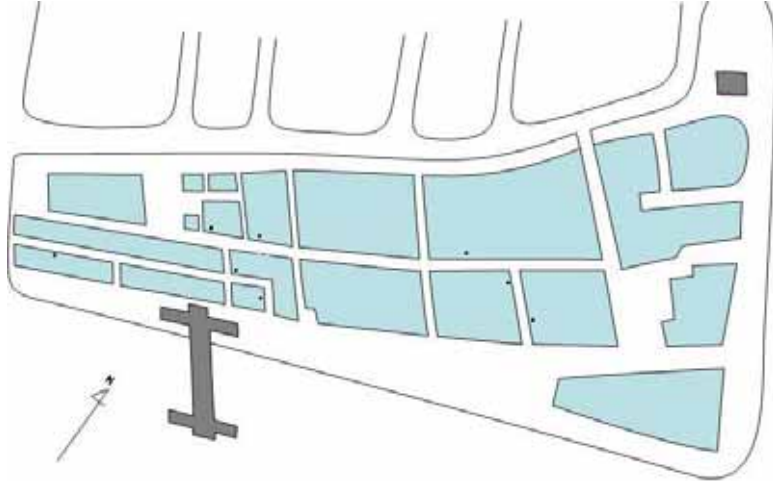
ANKOO



左から写真番号 3 2、7 1、8 5、1 2 1。他、計 8 の落書きがあった。

気づいたこと

上から × と描かれている落書きが多いのが特徴。誰かの妨害だろうか。



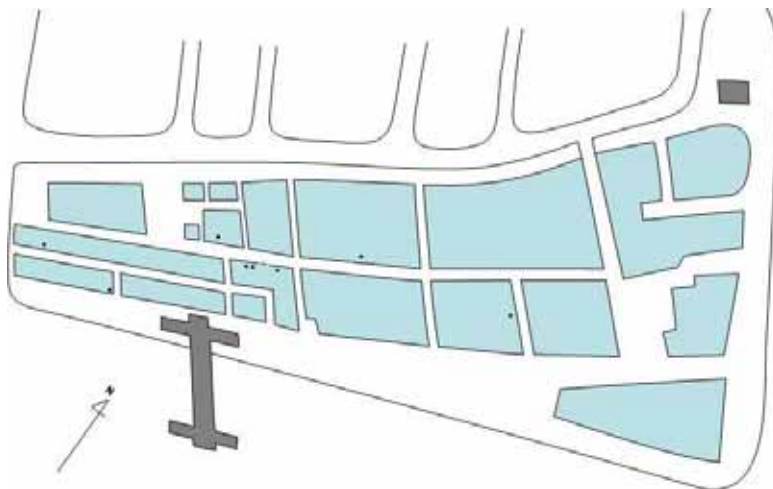
大



左から写真番号 4 2、4 5、5 5、8 0。他、計 8 の落書きがあった。

気づいたこと

すべてのマークが何かの落書きの横に書き加えられている。単体ではみられない。



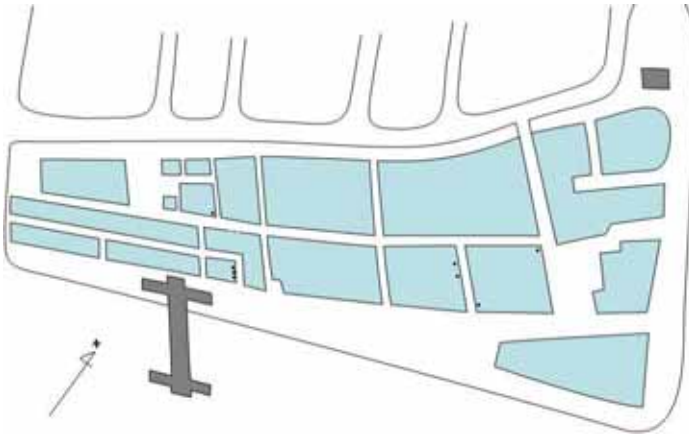
SIX



左から写真番号 80、84、99、100。他、計 8 の落書きがあった。

気づいたこと

悪魔の数字 666 に基づいているのか、ほぼ全てが 3 つ並んだ落書きだった。



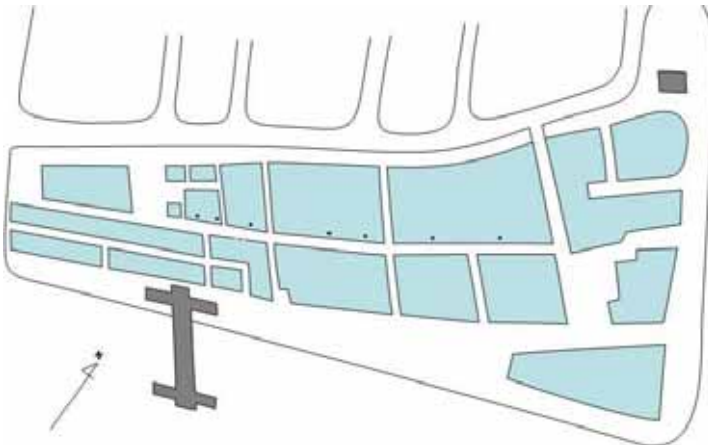
ASDGO



左から写真番号 34、37、59、70。他、計 7 の落書きがあった。

気づいたこと

筆跡がほぼ同じで、落書きが直線状に存在することから、ひとりの人間による落書きではないかと思われる。



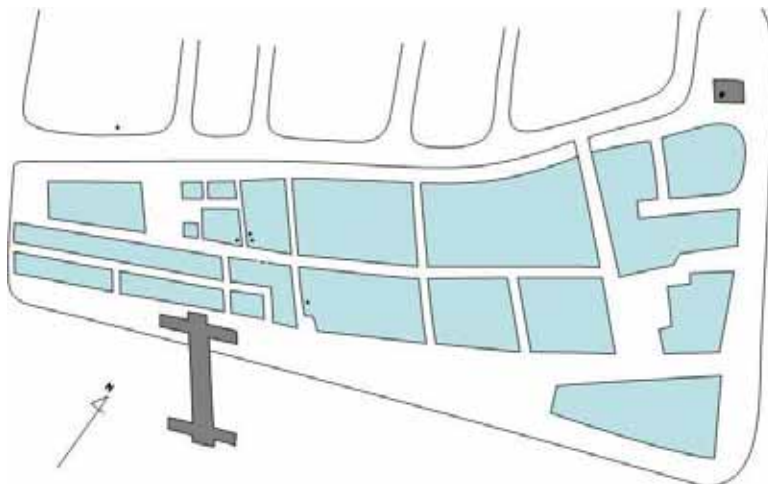
EMKDR(JV)



左から、写真番号 1、20、37、38。他、計6の落書きがあった。

気づいたこと

EMKDR に JV がついたのとそうでないのがある。ちなみに岡本駅周辺にもある。



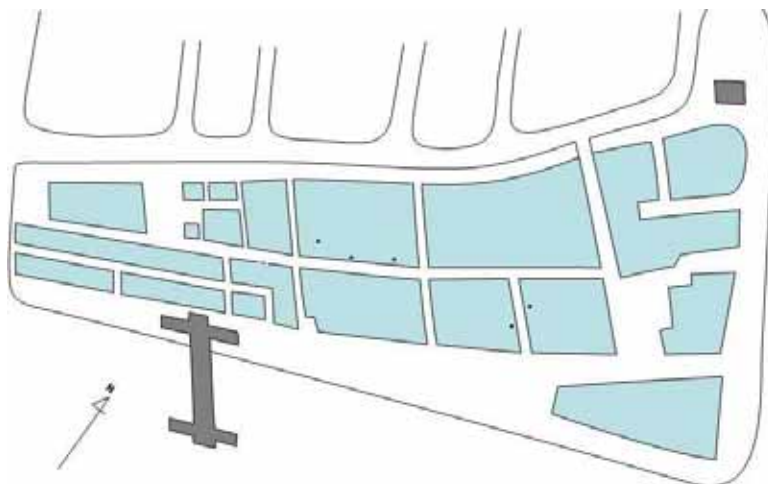
うさぎ



左から写真番号 50、54、59、81、88。計5の落書きがあった。

気づいたこと

どのうさぎも似ているが、2パターンの筆跡で描かれている。



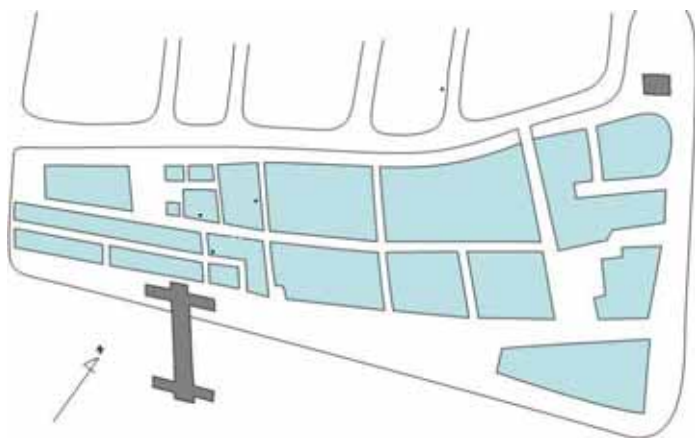
GO



左から、写真番号12、16、32、109。計4の落書きがあった。

気づいたこと

壁の下に書かれている事が多い。色のパターンが多い。



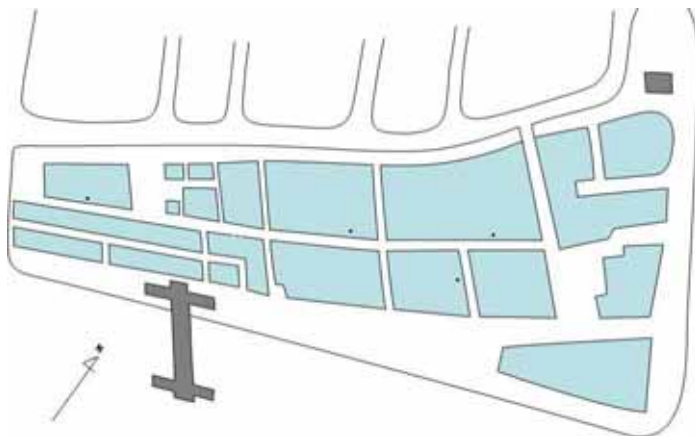
21 ダック



左から、写真番号24、57、79、92。計4の落書きがあった。

気づいたこと

(79の落書きは違っている可能性もある。)色はすべて違うものの、描かれている内容は、ほぼ同じである。ちなみに阪急岡本駅前にも存在する。



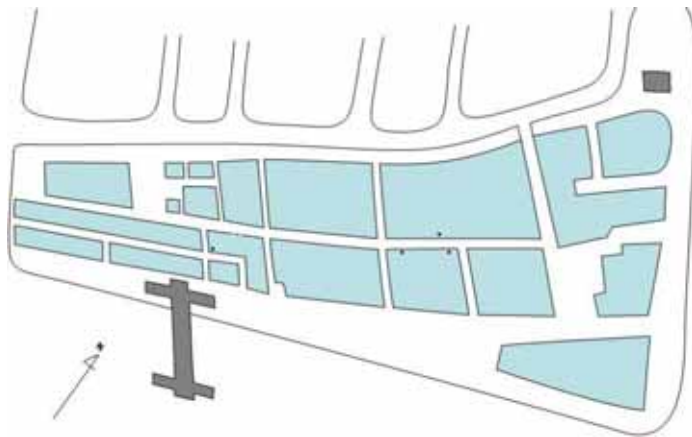
22 おばけ



左から72、74、76、109。計4の落書きがあった。

気づいたこと

赤に塗装して、黒で影をつけるなど他の落書きに比べ、細かい。



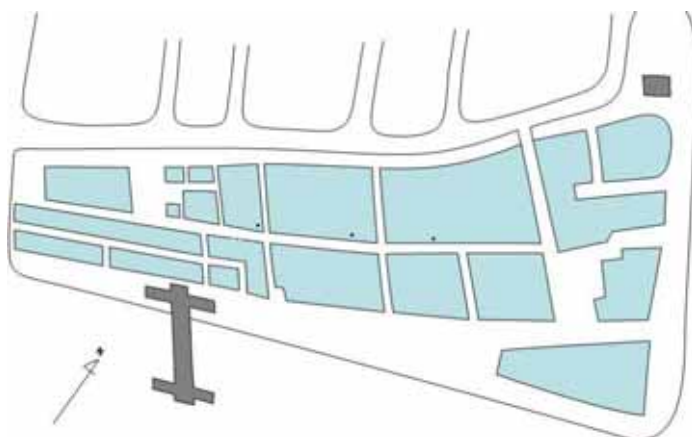
23 上山



左から、写真番号18、59、71。計3の落書きがあった。

気づいたこと

英文字のサインが多い中で、漢字で書かれていた。また59は、上と山という漢字が合体したものと思われる。



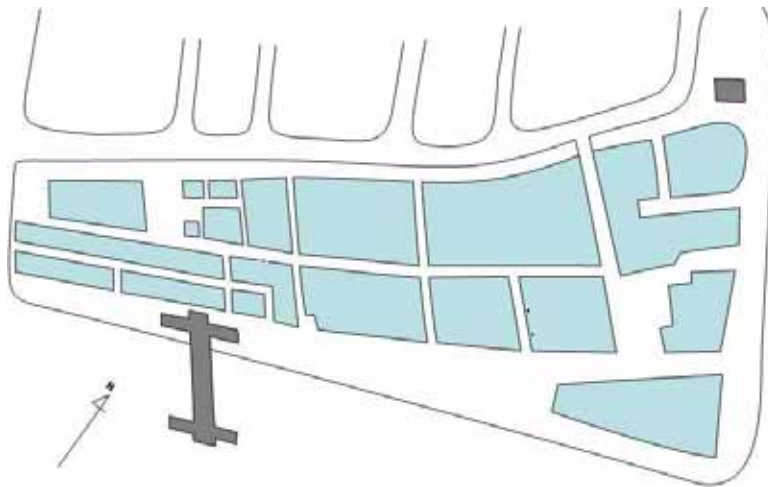
24いか



左から、写真番号 85、87。計 2 の落書きがあった。

気づいたこと

一応いかということにしたが、一体何なのかは不明である。



2つ以上の共通した落書きがあったのは、以上である。

他、どれにも当てはまらないと思われる落書き（その他に分類）が、198個存在した。

そもそも落書きという行為は、刑法第261条の器物損壊罪にあたり、3年以下の懲役又は30万円以下の罰金若しくは科料に処する、とされています。また市町村で、独自に法令を定め、落書きを消すためにかかった費用を負担させる自治体もあります。おそらく落書きをしている側の人間は、罰の事などは考えてはいないのでしょうけど、この落書きの数には正直って驚きました。落書きの無いところのほうが少ないくらいです。

あたりまえですが、落書きの数が多いということは、落書きをしている人間も多いということです。彼らはなぜ街という公共物、はてはお店などの私有物に落書きするのでしょうか。自分なりに考えてみたいと思います。

まず、街に落書きをするという行為は、場合によっては描いている現場を見られるかもしれないし、描いた落書きは必ず人の目にさらされることとなります。人に見られるという前提で描いているのですから、彼らの目的はまず人に見られるということにあるのでしょう。非常に短絡的ですが、これは最近のいわゆる愛情に飢えている若者の、自己アピールとも考えられます。色の種類が豊富であったことも、目立つためということにもとれます。

また、一種類の落書きのなかにも、複数の筆跡があるものもありました。グループで行動しているということも考えられますが、全ての落書きがグループ行動で書かれたものとは考えられないため、一人が始めた落書きを誰かがまねをしているという可能性が考えられます。これは自分自身の主観も含まれますが、数の多かった落書きの方がサインっぽく、少しかっこいいような、また洗練されたような落書きであるような気がします。初めは、何もなかったきれいな壁に、何者かが落書きをし、自分がこの壁の所有者であるかのような優越感をおぼえ、色々な場所にまた落書きを繰り返していく。そして、その落書きを真似するものが現れ、自分以外のものがサインを真似していることに満足し、さらに落書きを広げていく。といったサイクルが考えられます。それが一番感じられるのが、**の大**という落書きです。他の落書きのそばに大と書き加えられた落書きは、複数の違う落書きをしつつ、その端に大と書くことで、他者との違いを訴えているように感じるので。

非常に大雑把ですが、落書きは人との違いを社会にアピールしようとしている、若者の叫びであるような気がするのです。

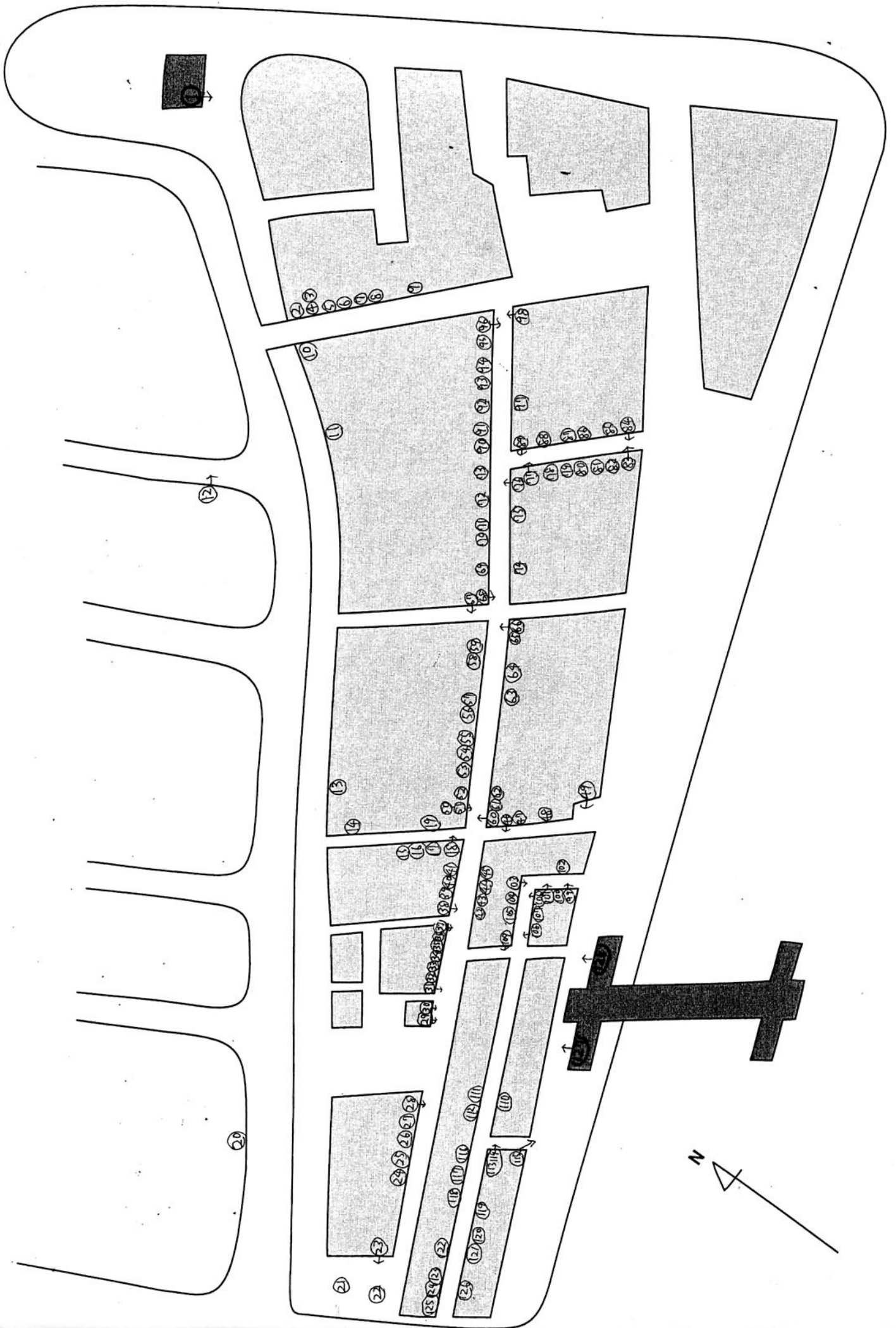
7.まとめ

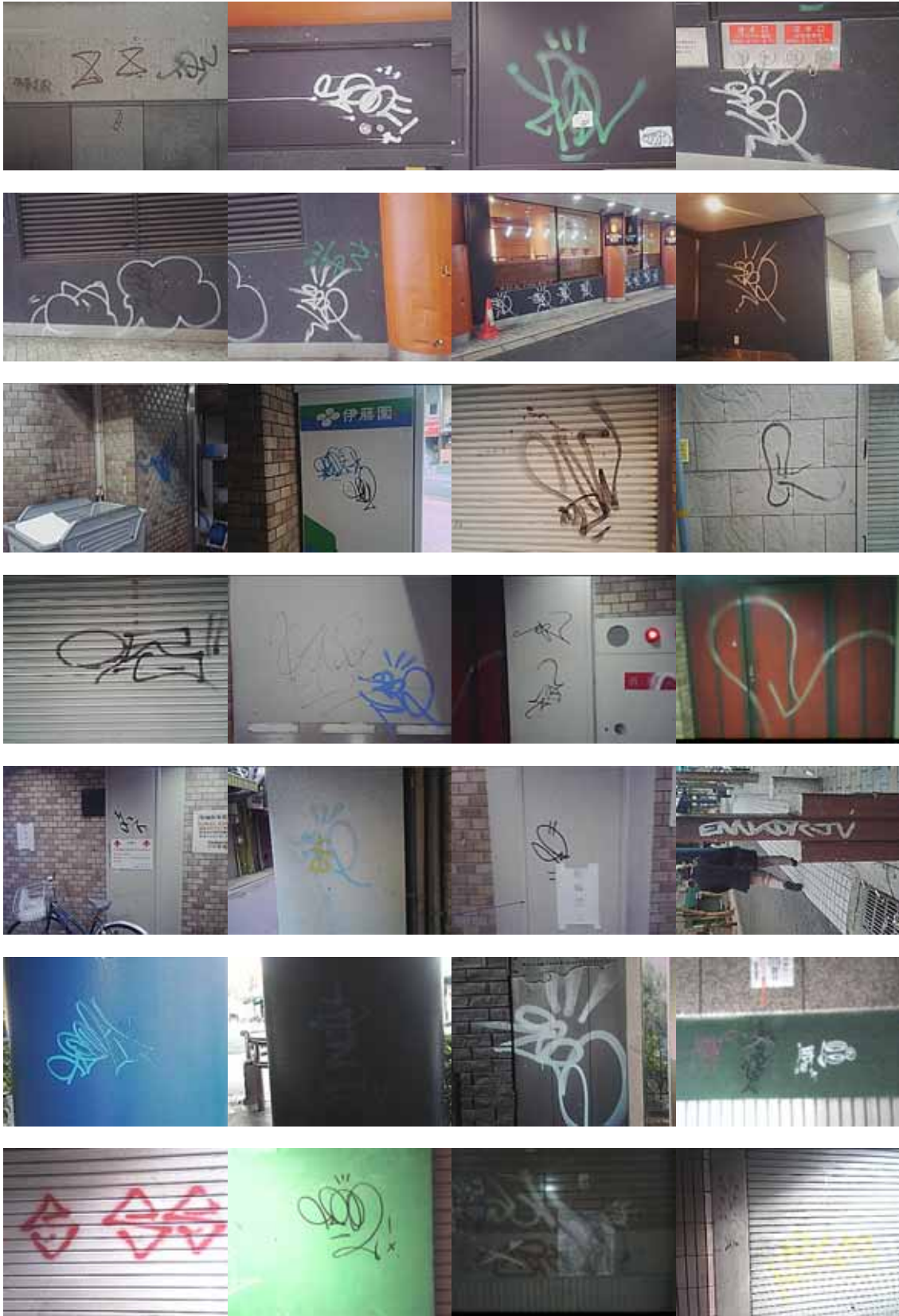
非常に時間がかかったにもかかわらず、かなり中途半端な考察になってしまった事が悔やまれます。本当は、描いた本人に直接聞くのが一番なのでしょうが、テーマがテーマだけに無理だと思います。

それにしても、落書きの数には本当に驚きました。また街をじっくりと見て回る機会は、いままであまりなかったので、タウンウォッチングはとても新鮮で、楽しかったです。

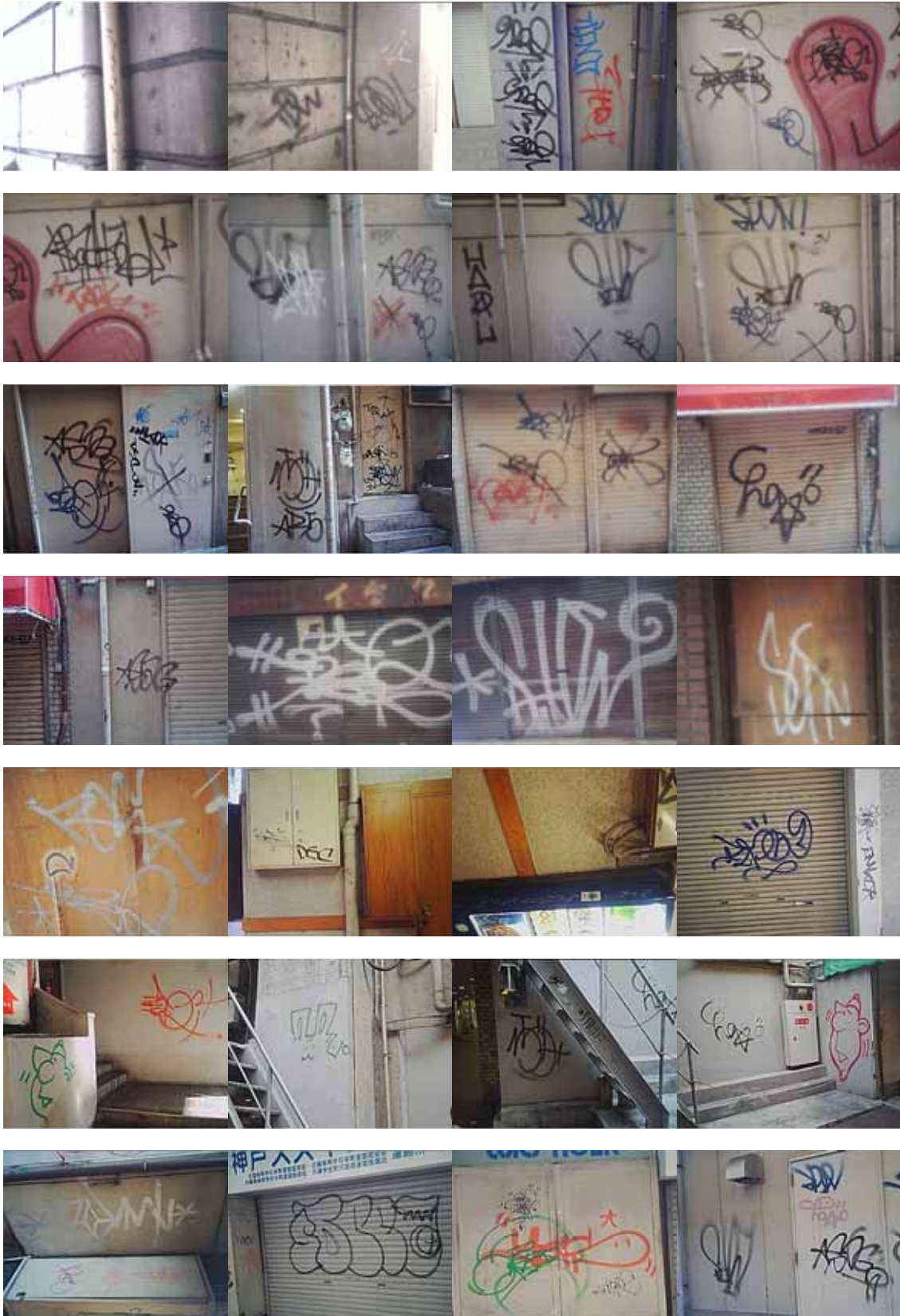
補足ですが、三宮にあった落書きは、岡本にも同じだと思われるものがありましたし、ポートアイランドや六甲アイランド、はたまた須磨の海の付近にもあるようです。非常に規模は大きくなりますが、範囲を広げると、面白い結果がでるかもしれません。

いちどじっくり研究してみたいです。

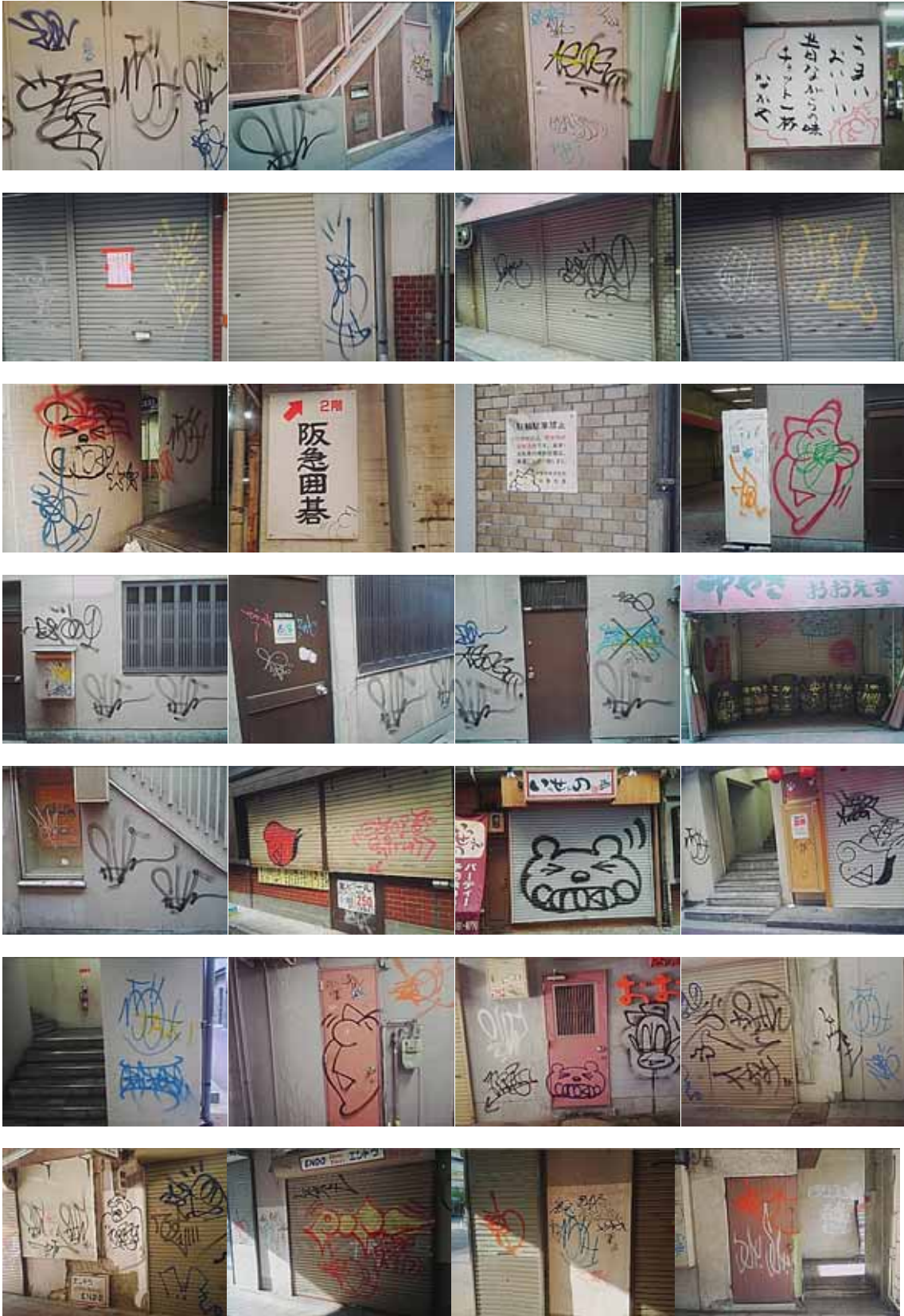




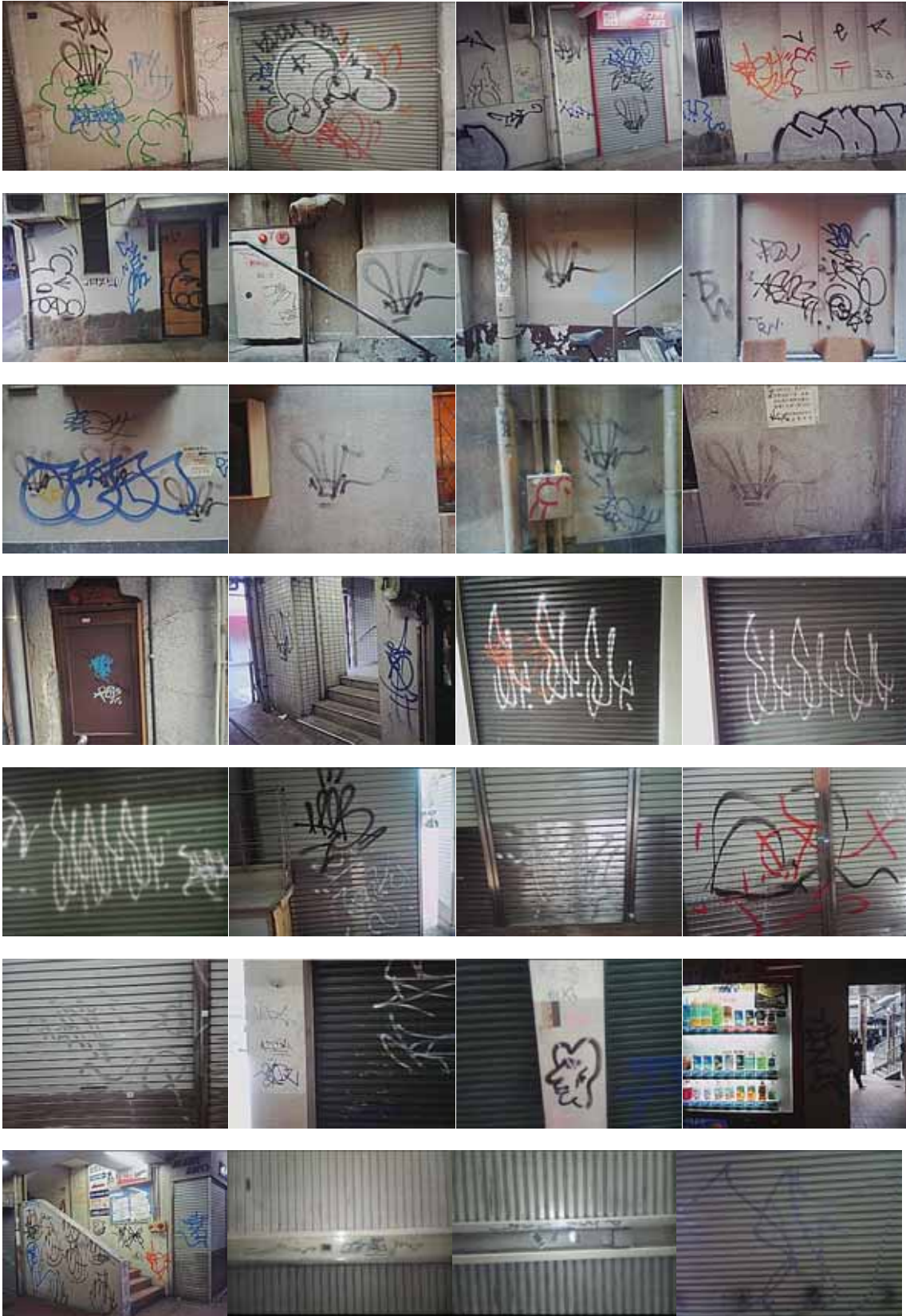
左上から、1、2、3、4.....28



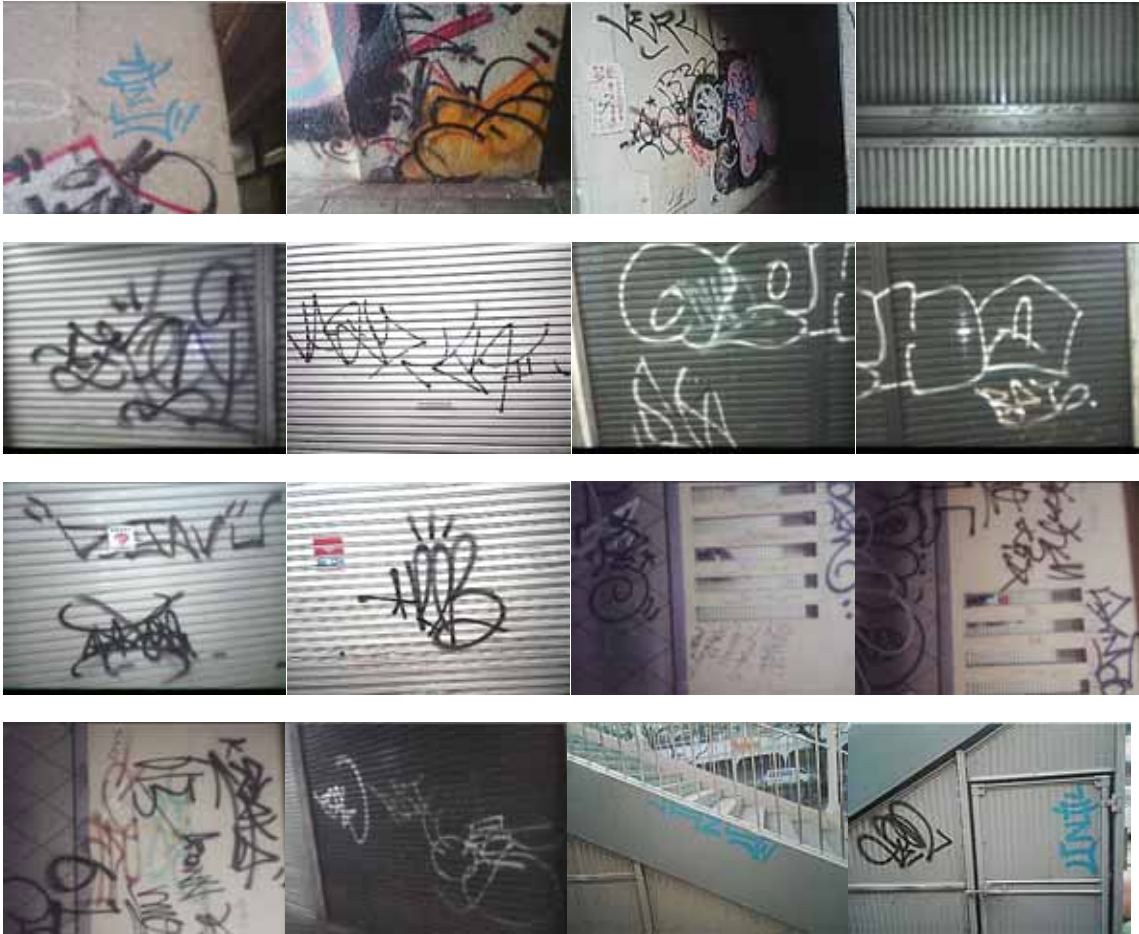
左上から、29~56



左上から、57~84



左上から、85~112



左上から、113~128